

記入年月日：令和 6年3月20日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			身体を動かす、学習を行う、製作をする、リラックスをするスペース等を分けて活動している。 相談室の一部をパソコン学習支援時に利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			規定に基づき必要な職員数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			戸建てで2階を使用する際には階段を利用するため手すり・滑り止めを設置。その他のスペースは広く使えるように配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			利用児童のモニタリングや支援会議に出席し意見交換を行っている。 職員同士での話し合いや振り返りの機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者とは口頭や連絡ノートにて連絡を取り、都度改善に努めている。アンケートを年に1回実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			様々な研修を提示し参加を促している。感染症予防のため、リモートでの研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			全職員に対し、面談内容、結果等を報告し計画書の内容を確認し合っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			スタッフミーティングにて話し合い、決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			スタッフ間で話し合うことでマンネリ化を防いでいる。 固定化する方が良い面もある為、プログラムにより固定化させている。 季節ごとの様々なプログラムを準備している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			それぞれに応じてスタッフミーティングにて細かく計画を立てて決定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用児の特性に合わせた計画をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			時間配分・役割分担の確認を行い職員間の共通理解に努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援記録を記載することで、職員間で情報共有を行っている。 当日に伝え合うことをしているが勤務により行えない場合は後日に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎日、支援記録を記載し目を通し日々の様子を把握することで改善に繋げている。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			定期的に行うカンファレンスを基に半年に1回のモニタリングを行い計画の見直しの必要性について判断している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	<input type="radio"/>			様々な活動を取り入れ、工夫してプログラムを提供している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校、保護者と連絡を取り、情報共有を行っている。ホームページの活用や送迎時に情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、対象児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所との情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、対象児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談、送迎時、電話連絡や連絡帳を通して、保護者の話を伺い、共通認識をもてるように努めている。必要に応じて話し合いの機会を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に内容についての説明を必ず行っている。変更があった場合には速やかに保護者に連絡している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳等や電話などで対応している。ご希望に応じて個別面談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者同士の連携支援の他、事業所をより詳しく知り普段の児童の様子を見ていただくように計画、実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に活動内容のわかる会報誌を発行している。ブログにて日々の様子を掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報取り扱いに関する規定を定めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			毎日記入する連絡帳を用いて情報共有を行っている。絵カードや写真を使用した視覚的アプローチの等の支援を行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか			○	招待するようなイベントは行っていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を行い、毎月、日々の支援について振り返りの機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	基本的に身体拘束の対象となる児童はいない為、個別契約書への反映はしていないが、必要に応じて記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーがあるか等を保護者から聞き取りアセスメントシートに記入し配慮している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告を受けたら、職員間で共有、検討の上、改善策を練っている。	